Pioneer

TS-F1750S
INPUT 160W MAX.
カーステレオ用埋込型スピーカー　17 cmセパレート2ウェイ

TS-F1650S
INPUT 160W MAX.
カーステレオ用埋込型スピーカー　16 cmセパレート2ウェイ

TS-F1050S
INPUT 100W MAX.
カーステレオ用埋込型スピーカー　10 cmセパレート2ウェイ

正しくご使用していただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。また、お車の取付けは、販売店様にご相談ください。
尚、車種、年式、グレードによって取付情報を確認する必要がありますので、適合車種の詳細については、販売店様にご相談ください。

【販売店様へ】取付作業が完了しましたら、この取扱説明書をお客様へお渡しください。
【免責事項について】お客様または第三者が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切の責任を負いません。

・ 本スピーカー取付後、取外した車両部品を逆の手順で取付けてください。
※ この取扱説明書は、令和7年4月現在の調査情報に基づいています。車種によっては、それ以降に車両の追加や変更が行われる場合があり、その際、取付けの仕方が変わっている場合があります。
※ 本取付例は、運転席側を元にして説明しています。助手席側は、運転席側を参考にしてください。
※ ドアや後席側面などは、雨水が回りこむことがあるため、必ず付属のパッキンを取扱説明書にしたがって取付けてください。ウーファー部は耐水仕様となっておりますが、車種によっては、別途防水対策が必要な場合があります。特に、純正の防水カバーを外す必要があるときなどは、現車に合わせて万全な防水対策を行ってください。
※ ネットワークは防水仕様になっていませんので水のかからない場所に設置してください。

● 配線のご注意とお願い
スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性（＋、－）を間違えて配線しますと、低音感の乏しい音になります。

※ 本製品の付属のネットワークを使用せず、当社メインユニット内蔵のデジタルネットワークや、その他のネットワークを使用して接続する場合、接続および操作方法を誤ると本製品が破損することがあります。ご注意ください。
※ スピーカーを取付ける際、取付情報上では取付可能であっても、車両の個体差により取付けた商品が車両側に干渉する場合があります。その場合は、別途内張り（グリル部の裏側など）の加工を行ってください。
※ 車種によっては商品の取付後、内張りなどにビリ音が発生する場合があります。その場合は別途ビリ止め対策を行ってください。
※ 端子が車両に当たらない方向で取付けてください。
※ ハイレゾ品質での音楽再生をより確かなものとするためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

Hi-Res AUDIO 当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

はじめに（全モデル共通）

正しくご使用していただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
トゥイーターの取付方法は全モデル共通で裏面に記載されています。
ウーファーの取付方法は主に TS-F1750S / TS-F1650S は表面、TS-F1050S は裏面に記載されています。

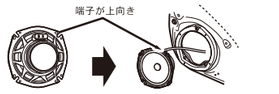
＝取付ける際のご注意＝

◆スピーカーを取付ける際、端子が車両鉄板と接触すると火災や故障の原因となることがあります。端子の方向には十分ご注意ください。

車種により取付方法が異なりますので、取付前に販売店様にご相談いただくか、「カロッツェリア車種別 JUST FIT Web 版(PC/ スマートフォン用)」にて、取付けに関する注意事項をご確認ください。
URL : https://pioneer.jp/ja/carrozzeria/support/justfit/

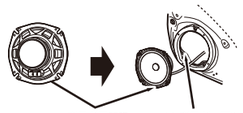
（例）ホンダ　フィット(H25/9～現在)の場合

＜正しい取付方法＞



○ 端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください

＜誤った取付方法＞



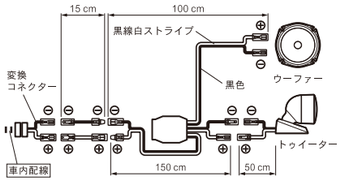
◆以下の車種にお乗りの方は、裏面の「純正トゥイーター取外し手順」を必ずご覧ください。
トヨタ　プリウス(H21/5～H27/12) / プリウス PHV(H24/1～H29/2) / プリウスα(H23/5～R3/3)

接続方法（全モデル共通）

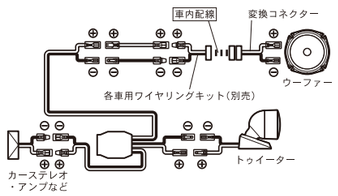
●配線図

車種によっては、付属の変換コネクターが使用できます。TS-F1750S / TS-F1650S をご購入の方は、表面右下の［●車両コネクター形状一覧］を、TS-F1050S をご購入の方は裏面左下の［●コネクター接続］をご覧ください。

1. ドア側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合

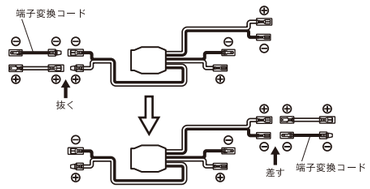


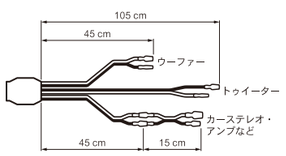
2. メインユニット側でトゥイーター用配線(ネットワーク)を分岐する場合

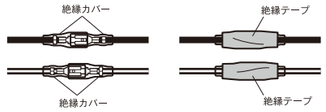


ネットワーク部（全モデル共通）

メインユニット側でトゥイーター用配線を分岐する場合は、ネットワークコードに接続されている、端子変換コードを差し替えてください。





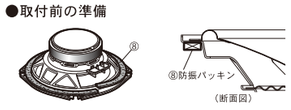


⚠注意
接続部の端子が絶縁カバーで覆われていることを確認し、カバーが外れないようテープなどを巻いて固定してください。端子が車両の金属部に接触すると、火災や故障の原因となります。

TS-F1750S
●付属品

①	φ4 mm×12 mm	×8
②	φ4 mm×20 mm	×4
③	φ5 mm×12 mm	×8
④	M5 mm×20 mm	×6
⑤	φ12 mm×φ5.5 mm	×14
⑥	φ16 mm×φ5.5 mm	×8
⑦	変換コネクター（灰色カプラー）	×2
⑧	防振パッキン	×2
⑨	ロックタイ	×4
⑩	接続アダプター	×2
⑪	クッション（接続アダプター用）	×2
⑫	ネットワーク	×2
⑬	クッション	×1
⑭	ナットM5 mm用	×6
⑮	ウーファー用ブラケット-1（トヨタ/日産/スズキ/マツダ車用）	×2
⑯	ウーファー用ブラケット-2（ホンダ車用）	×2
⑰	ジャンパーコネクター	×2

●取付前の準備

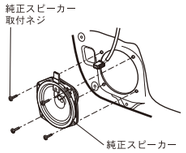


・スピーカーの裏面に付属の防振パッキン⑧を貼付けます。

●接続方法
本紙左上の［はじめに（全モデル共通）］に記載されている［接続方法］を参照してください。

●取付けの流れ
1. 内張りの取外し

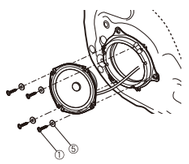
2. 純正スピーカーの取外し



・純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。

詳細は右記の［●純正スピーカー取外し方法］をご覧ください。

3. スピーカーの取付け



・付属のコードを使用し、車両コネクターとスピーカーを接続します。

詳細は右記の［●スピーカー取付け方法］をご覧ください。※車種によっては、別売りの取付キットが必要になります。取付けの詳細はJUST FIT Web 版をご覧ください。

・ネットワークの固定方法および配線処理方法
ネットワークやコードの余長はロックタイ⑨で車両の純正ハーネスなどに固定してください。その際、ドアガラスなど、車の可動部分に接触しない場所に設置してください。ネットワークは防水仕様になっておりませんので水のかからない場所に設置してください。

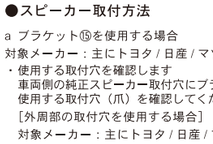
⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。
接触すると火災や故障の原因となります。

4. 内張りを元通りに取付けます。
取外しと逆の手順で行います。

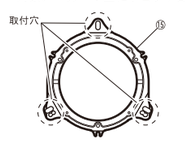
5. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

TS-F1750S
●純正スピーカー取外し方法

a ネジ止めの場合
対象メーカー：トヨタ / 日産 / ホンダ / スズキ / 三菱 / マツダ / スバル車



・純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。



［スズキ車の場合］
純正スピーカーを取外した際に、車両側に樹脂製グロメットが残りますので、グロメットを取外してください。
※一部のスズキ車でグロメットがない車種もあります。

b リベット止めの場合

・ドリルでリベットの中心部に穴を開けてリベットを取外すか、ニッパーなどでリベットの頭の部分を切取ってスピーカーを取外します。(リベットは全て取除いてください。)配線コネクターも外します。尚、取外したリベットは再利用できなくなります。
※リベットを外す際、リベットの破片がドア内部に落ちることがあります。破片の残留は異音の原因となりますので、必ず全て取除いてください。

c ネジ＋はめ込み固定の場合
対象メーカー：主にホンダ車

・純正スピーカー取付ネジ1本を外し、下部2ヶ所のフック差し込み部を抜き、配線コネクターを外します。

●スピーカー取付方法

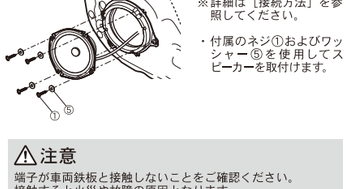
a ブラケット⑮を使用する場合
対象メーカー：主にトヨタ / 日産 / マツダ / スズキ車
・使用する取付穴を確認します
車両側の純正スピーカー取付穴にブラケット⑮をあわせて、使用する取付穴（爪）を確認してください。
［外周部の取付穴を使用する場合］
対象メーカー：主にトヨタ / 日産 / マツダ / スズキ車

※車種によってはブラケットの一部が車両に干渉する場合がありますので、その際はブラケットの溝部やケガキ線にそって、干渉する部分の切取り加工を行ってください。

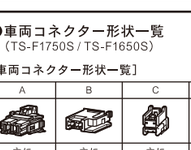
［爪部を使用して取付ける場合］
対象車種：デミオ(H19/7～H26/9)

※左図網掛け部分の切取り加工を行ってください。

［取付穴をあけて取付ける場合］
対象メーカー：主にスズキ車



・ブラケット⑮の裏面に防振パッキン⑧を貼付けます。



・ブラケット⑮を車両に取付けます。
（純正スピーカーがネジ止めの場合）

・純正スピーカー取付ネジを使用してブラケットを車両に取付けます。

［デミオ（H19/7～H26/9）の場合］
・ブラケットを車両に取付ける際、車両側の純正スピーカー位置出しリブをカットしてください。

〈純正スピーカー取付ネジを使用できない場合〉
※純正スピーカーがリベット止めの車両など

・付属のネジ④、ワッシャー⑤およびナット⑭を使用して、ブラケット⑮を車両に取付けます。

［ブラケットに取付穴をあけて取付ける場合］
・ワッシャー⑤は使用しません。

・スピーカーを取付けます。

・付属のコードを使用し、車両コネクターとスピーカーを接続します。
※詳細は［接続方法］を参照してください。

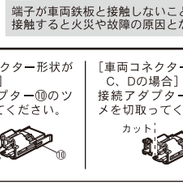
・純正スピーカー取付ネジまたは、付属のネジおよびワッシャーを使用してスピーカーを取付けます。
※車両側のスピーカー取付穴がスピーカーの外側になり、ネジ頭のかかりが小さくなる場合は、付属のワッシャー⑥を使用してください。

⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。
接触すると火災や故障の原因となります。

b ブラケット⑯を使用する場合（TS-F1750Sのみ付属）
対象メーカー：主にホンダ車
・ブラケット⑯の裏面に防振パッキン⑧を貼付けます。

※パッキンを貼る際、ブラケットのネジ穴をふさがないよう注意してください。

・ブラケット⑯を車両に取付けます。



・ブラケットの上部穴を車両のナットホルダーにあわせて、下部の凸部を車両鉄板のフック差込み部にはめ込みます。
・ブラケットの上部は付属のネジ④、ワッシャー⑤および車両のナットホルダーを使用して、下部は付属ネジ②を使用して取付けます。
※ナットホルダーが無い車種の場合は、付属のナット⑭が使用可能です。

・スピーカーを取付けます。

・付属のコードを使用し、車両コネクターとスピーカーを接続します。
※詳細は［接続方法］を参照してください。

・付属のネジ①およびワッシャー⑤を使用してスピーカーを取付けます。

・スピーカーを取付ける際は端子が車両鉄板と接触しないように端子の方向を確認し取付けをおこなってください。尚、取付けに関しては取説裏面も必ずお読みください。

⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。
接触すると火災や故障の原因となります。

c 付属のブラケットを使用しないで取付ける場合

・付属のコードを使用し、車両コネクターとスピーカーを接続します。
※詳細は［接続方法］を参照してください。

・純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。

詳細は右記の［●スピーカー取付け方法］をご覧ください。

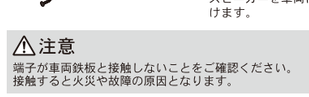
⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。
接触すると火災や故障の原因となります。

TS-F1650S
●付属品

①	φ6 mm×16 mm	×6
②	φ4 mm×14 mm	×8
③	M4 mm×6 mm	×6
④	φ5 mm×10 mm	×8
⑤	φ12 mm×φ4.5 mm	×8
⑥	φ13 mm×φ6 mm	×12
⑦	変換コネクター（灰色カプラー）	×2
⑧	防振パッキン	×1
⑨	ロックタイ	×4
⑩	接続アダプター	×2
⑪	クッション（接続アダプター用）	×2
⑫	ネットワーク	×2
⑬	クッション	×1

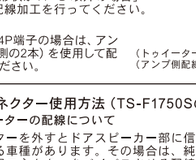
●接続方法
本紙左上の［はじめに（全モデル共通）］に記載されている［接続方法］を参照してください。

●取付前の準備
スピーカーの裏面に付属の防振パッキン⑧を貼付けます。



●取付けの流れ
1. 内張りの取外し

2. 純正スピーカーの取外し



・純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。

3. スピーカーの取付け

・付属のコードを使用し、車両とスピーカーを接続します。
・純正スピーカー取付ネジ、または付属ネジおよびワッシャーを使用し、スピーカーを車両に取付けます。

⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。
接触すると火災や故障の原因となります。

4. 内張りを元通りに取付けます。
取外しと逆の手順で行います。

5. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

●車両コネクター形状一覧
（TS-F1750S / TS-F1650S）

［車両コネクター形状一覧］

A	B	C	D
主に ホンダ車	主に トヨタ/三菱車	主に 日産車	主に スズキ/ダイハツ車

［車両コネクター形状がAの場合］
変換コネクター⑦と車両コネクターを接続してください。クッション⑪を使用してコードの余長をたばねることもできます。

［車両コネクター形状がBの場合］
接続アダプター⑩のツメをはめてください。

［車両コネクター形状がC、Dの場合］
接続アダプター⑩のツメを切取ってください。

変換コネクター⑦に接続アダプター⑩をはめて、車両コネクターと接続してください。

クッション⑪を、接続部に巻いてください。

［三菱車で車両コネクター形状がDの場合］
接続(変換コネクター⑦、接続アダプター⑩使用)時、本商品のみ極性が逆になりますので、必要に応じて配線加工を行ってください。

［車両コネクター形状がA～D以外の場合］
極性に注意して配線加工を行ってください。

〈マツダ車の例〉
車両コネクターが4P端子の場合は、アンプからの配線（内側の2本）を使用して配線加工を行ってください。

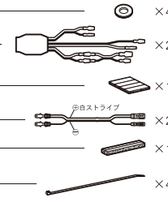
ジャンパーコネクター使用方法（TS-F1750Sのみ付属）
・純正トゥイーターの配線について
純正トゥイーターを外すとドアスピーカー部に信号が流れなくなる車種があります。その場合は、純正トゥイーター用コネクターをバイパスさせる配線加工が必要となります。車種によっては、ジャンパーコネクター⑰を使用することで純正トゥイーター用コネクターをバイパスできる場合があります。

純正トゥイーターを外したコネクターに付属のジャンパーコネクター⑰を接続してください。

TS-F1050S

●付属品

①	φ4 mm×14 mm	×4
②	φ5 mm×16 mm	×4
③	コの字金具	×4
④	φ10 mm×4.5 mm	×4
⑤	ネットワーク	×2
⑥	クッション	×1
⑦	変換コネクター	×2
⑧	防振パッキン	×1
⑨	ロックタイ	×4



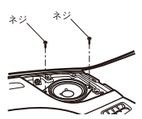
●接続方法

本紙左上の［はじめに（全モデル共通）］に記載されている［接続方法］を参照してください。

●取付けの流れ

1. 内張りの取外し

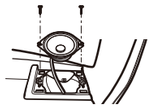
2. 純正スピーカーの取外し



・純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して、純正スピーカーを取外します。

3. スピーカーの取付け

〈トヨタ車の場合〉



・付属のコードを使用し、車両とスピーカーを接続します。
※詳細は［接続方法］を参照してください。

〈トヨタ車以外の場合〉

・トヨタ車以外の場合は、防振パッキン⑧をスピーカー取付部に貼付けてください。

・純正スピーカー取付ネジ、または付属ネジおよびワッシャーを使用し、スピーカーを車両に取付けます。

⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。
接触すると火災や故障の原因となります。

4. 内張りを元通りに取付けます。
取外しと逆の手順で行います。

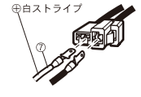
5. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

●コネクター接続

［付属コード対応車両コネクター］

（主にスズキ/ダイハツ/三菱車）

［図示車両コネクター形状で三菱車以外の場合］
変換コネクター⑦を図のように車両コネクターに接続してください。



［三菱車の場合］
変換コネクター⑦を図のように車両コネクターに接続してください。

［車両コネクター形状が上記以外の場合］
極性に注意して配線加工を行ってください。

トゥイーター部（全モデル共通）

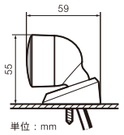
●トゥイーター取付手順

※取付ける位置の湿気、ホコリ、汚れ、油分などを取除いてください。

●取付方法 A　使用金具⑪⑭⑮⑯

ロータリースペーサーを使用して
取付ける方法

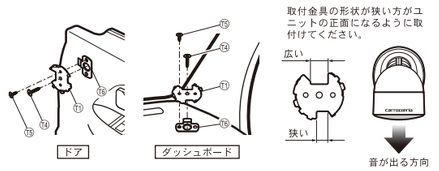
※ロータリースペーサーを使用して取付ける場合は、トゥイーターの回転に合わせてコードが引っ張られるため、コードがつっぱって断線する恐れがあります。コードに余裕を持たせてください。



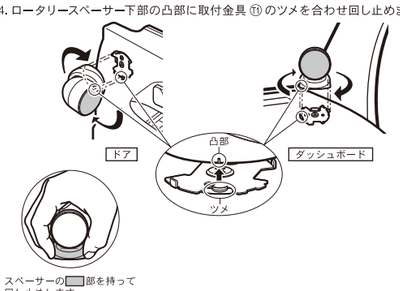
1. トゥイーターの取付位置を決めたら、個装ケース蓋部より切り抜いた型紙を使用し、音を出したい方向に矢印を合わせ、四角穴(a)と丸穴2箇所(b,c)にマーキングをします。
丸穴(c)は、2.の穴あけ加工作業がしやすいどちらか一方を選択し、マーキングしてください。

2. 四角穴(a)と丸穴(b)の2箇所にマーキングの通り穴を開けます。また、丸穴(c)の選択した側にネジ⑮用の下穴を開けます。

3. コの字金具⑯を内装にはさみ込み、丸穴に合わせて取付金具⑪をネジ⑭・ネジ⑮で止めます。

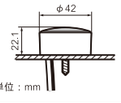


4. ロータリースペーサー下部の凸部に取付金具⑪のツメを合わせ回し止めます。

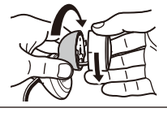


●取付方法 B　使用金具⑪⑫⑭⑮⑯

ロータリースペーサーを使用しないで
取付ける方法

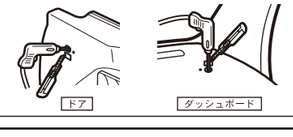


1. 部のロータリースペーサー部分を持ち、ロータリースペーサーを奥側へ、carrozzeria の文字がある部分は手前側へ回し、外します。



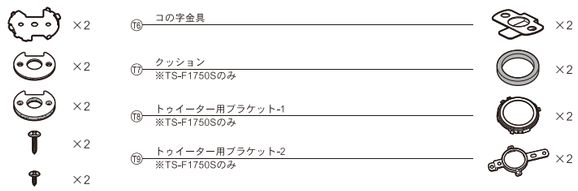
2. トゥイーターの取付位置を決めたら、個装ケース蓋部より切り抜いた型紙を使用し、四角穴(a)と丸穴2箇所(b,c)にマーキングをします。
丸穴(c)は、3.の穴あけ加工作業がしやすいどちらか一方を選択し、マーキングしてください。

3. 四角穴(a)と丸穴(b)の2箇所にマーキングの通り穴を開けます。また、丸穴(c)の選択した側にネジ⑮用の下穴を開けます。

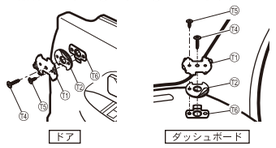


●付属品

⑪	取付金具（ロータリースペーサーおよびトゥイーターユニット固定用）	×2
⑫	クッション 薄手	×2
⑬	クッション 厚手・袋入り	×2
⑭	φ4 mm×14 mm 低頭ネジ	×2
⑮	φ3 mm×7 mm 低頭ネジ	×2
⑯	コの字金具	×2
⑰	クッション ※TS-F1750Sのみ	×2
⑱	トゥイーター用ブラケット-1 ※TS-F1750Sのみ	×2
⑲	トゥイーター用ブラケット-2 ※TS-F1750Sのみ	×2

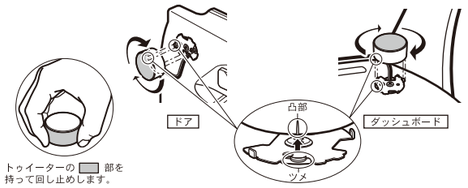


4. コの字金具⑯を内装にはさみ込み、丸穴に合わせて取付金具⑪をクッション⑫で貼付け、ネジ⑭・ネジ⑮で止めます。



※車両側が曲面でクッション⑫での密着が不十分な場合、クッション⑬を使用してください。

5. トゥイーター下部の凸部に取付金具⑪のツメを合わせ回し止めます。



純正位置取付け

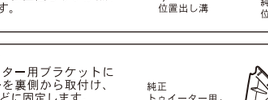
●取付方法 C　使用金具⑰⑱⑲

※車種によっては純正トゥイーターと交換取付けすることができます。

〈取付前の準備〉

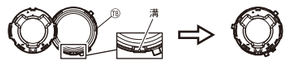
1. ロータリースペーサーからトゥイーターを取外します。
・取付方法B-[1]を参照ください。

2. ホルダーからトゥイーターを取外します。
・トゥイーターを左方向に回転させてホルダーから取外します。



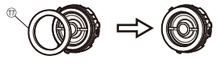
※再度トゥイーターをホルダーに取付ける場合は、取外しと逆の手順でホルダーにトゥイーターをはめ込み、右方向に回転させて固定します。

3. トゥイーターにブラケット⑱を取付けます。
・トゥイーターとブラケットの溝の位置を合わせてツメをはめ込みます。



※ブラケットを外す場合はブラケットのツメ部をマイナスドライバーなどでこじって外します。

4. ブラケットの表面にクッション⑰を貼付けます。

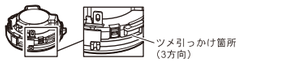


スズキ / 日産車の場合

1. トゥイーターにブラケット⑲を取付けます。
・トゥイーター裏面の△マークをブラケット⑲の△マークに合わせてはめ込み、右方向に回転させて固定します。

C-1 トヨタ車の場合

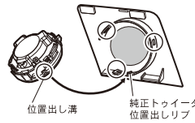
・樹脂カバーなどの純正トゥイーター取付部のツメを使用してトゥイーターを取付けます。



※車種によってはトゥイーターおよびブラケットの一部が純正トゥイーター取付部に干渉する場合がありますので、その際は干渉する部分の切取り加工を行ってください。

C-2 ホンダ車の場合

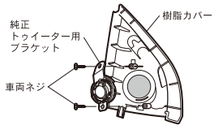
・樹脂カバーなどの純正トゥイーター取付用穴(3ヶ所)を使用してトゥイーターを取付けます。



※純正トゥイーター用位置出しリブに、ブラケットの位置出し溝を合わせて取付けます。
※車種によっては位置出しリブが無い場合もあります。

C-3 三菱車の場合

・純正トゥイーター用ブラケットにトゥイーターを裏側から取付け、樹脂カバーなどに固定します。



C-4 スズキ車の場合

※ランディ（H22/12～H28/8）は「C-5」を参照してください。

・ブラケットのカットを行います。

・樹脂カバーなどの純正トゥイーター取付部に、トゥイーターを取付けます。

C-5 日産車の場合

・樹脂カバーなどの純正トゥイーター取付部に、トゥイーターを取付けます。
※ブラケットには複数の取付用の穴を設けていますが、車両側の樹脂カバーに合わせて使用する穴を選定してください。

※車種によってはブラケットの一部が純正トゥイーター取付部に干渉する場合がありますので、その際は干渉する部分の切取り加工を行ってください。

純正トゥイーター取外し手順

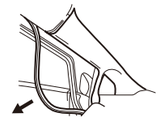
トヨタ プリウス（H21/5～H27/12）／プリウス PHV（H24/1～H29/2）／プリウスα（H23/5～R3/3）　令和7年4月現在

⚠警告　「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

強制
本製品を取付ける際に純正ダッシュスピーカーを外すと、フロントドアスピーカー部には信号が流れません。
従って、純正ダッシュスピーカーを使用しない場合には、純正ダッシュスピーカー用配線の4Pコネクター部に付属のジャンパーコネクターを接続する必要があります。その際は、エアバッグが装着されているAピラートリム部分の取外し、取付けが必要になります。
Aピラートリムの装着にはエアバッグ作動時の飛散防止のため、特殊なクリップが使用されています。このため、Aピラートリムの取外し、取付けには専門知識が必要ですので、取付業者またはカーディーラーなどでの作業が必要となります。

取外し手順（図は助手席側の説明です。運転席側は対称になります。）

■ウェザーストリップを外します。

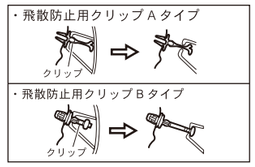


⚠注意
作業中に取外したパーツのとがった部分や車両鉄板のバリなどでケガをしないよう十分にご注意ください。手袋の装着を推奨します。

■Aピラートリムを外します。

トリムのクリップ類の勘合を外し、飛散防止用クリップがトリムに引っかかった状態にします。

※車種により装着されている飛散防止用クリップが異なります。



⚠注意
作業時は内蔵されているエアバッグを傷つけないようご注意ください。また、工具類を使用して取外しを行う場合は、先端が鋭利なものは使用しないでください。

○飛散防止用クリップの取外し(取付け)方法

・Aタイプの場合
＜取外し＞
保護テープを巻いたラジオペンチを使用してクリップを90°回し、トリムの角穴から抜きます。

＜取付け＞
クリップを元に戻す場合は取外しと逆の手順で、トリムの角穴にクリップの先端部を通し、保護テープを巻いたラジオペンチを使用して、クリップの取外し時と逆の方向に90°回します。

・Bタイプの場合
＜取外し＞
クリップの両サイドのツマミを押しながらピラーから抜きます。

＜取付け＞
トリムを元に戻す場合は、飛散防止用クリップをトリムにはめ込んでからピラーに勘合させます。クリップはトリムの凸部に乗り上げないようにして取付けてください。

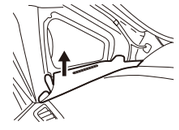
⚠注意　飛散防止用のクリップは取付手順を参考に確実に復元させてください。クリップやトリムが正しく復元されていない場合は、エアバッグ展開時にトリムが外れてケガをする恐れがあります。

⚠注意　作業時はクリップやその他車両のパーツを傷つけないようご注意ください。

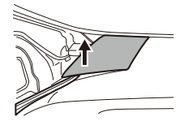
強制　飛散防止用クリップにダメージがある場合や破損した場合は必ず新品に交換してください。

飛散防止用クリップ取外し後、トリム根元のフックを外し、Aピラーからトリムを取外します。

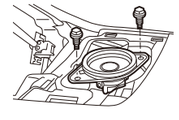
■インパネサイド・ガーニッシュを外します。
ガーニッシュを上方に外します。



■トゥイーターグリルを外します。
グリルの手前側から上方にこじってツメを外し、前方側のフックを外します。



■純正トゥイーターを外します。
取付ネジ２本を外し、コネクターを取外します。



※取付ネジやスピードナットを落とさないようご注意ください。

強制　パーツ（クリップなど）の破損、紛失時は新品に交換してください。

carrozzeria
© パイオニア株式会社　2025
パイオニア株式会社　〒113－0021　東京都文京区本駒込2-28-8　文京グリーンコート　〈TRA2347-A/VI〉